


(関係部門へご回覧下さい)

## 信用リスクの基礎

金融機関において近年大きな課題となっている収益管理、リスク管理（フレームワーク、融資性信用リスクマネジメント、市場性信用リスクマネジメント、統合リスクマネジメント）を可能な限り数学を使わず平易な言葉で解説します。

また、実務的な規制対応に即したバーゼル規制（自己資本比率規制）の基礎、バーゼルⅢの概要についても解説します。2017年12月にバーゼル銀行監督委員会「バーゼルⅢ:危機後改革の最終化」が公表されました。将来的に広範な影響が予想される「信用リスクの標準的手法の見直し」、「信用リスクの内部モデル手法の見直し」、「オペレーショナルリスクの計測手法の見直し」、及び「資本フロアの導入」の最終案概要も説明する予定です。

最近では下記が主要な課題となっていますが、対応は適切で充分でしょうか。

- ★ 社債や仕組(ストラクチャード)債等の信用リスクを管理していますか？
- ★ 収益管理とリスク管理を統合的に実施していますか？
- ★ 統合的なリスク量を各部門に配賦して、経営戦略に反映していますか？
- ★ 内部格付モデル等のバックステイニングを定期的に行っていますか？
- ★ マクロ要因等も含んだシナリオで、信用リスク量等のストレステストを実施していますか？
- ★ 住宅ローンに関して、金利上昇等のシナリオによる生涯収益シミュレーションを行っていますか？

開催日：2018年10月18日（木）・19日（金）（2日間）

会場：第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師：（敬称略）

有限責任監査法人トーマツ

アドバイザリー事業本部

シニアマネジャー

東 浦 明 朗

主催：CMC

*Computer Based Management College*

<https://www.nikkin.co.jp/cmc.html>

\* 上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後 援 : 一般社団法人 全国地方銀行協会  
一般社団法人 第二地方銀行協会  
一般社団法人 全国信用金庫協会  
一般社団法人 全国信用組合中央協会

## ☆研修の対象

金融機関に勤務しており、収益管理・リスク管理部門に配属されたばかりの方、審査・融資部門、市場部門、信用リスク管理部門に配属されたばかりで、体系的に収益・リスク管理を学びたい方、収益管理・リスク管理システムの企画・開発・運用担当になった方、収益管理・リスク管理の概要を理解しておきたい経営者、管理者の方、および金融機関を営業対象とする企業の担当社員・SEの方。

## ☆研修のねらい

銀行において近年大きな課題となっている収益管理、リスク管理を可能な限り数学を使わず平易な言葉で解説。特に本コースでは信用リスクを重点的に学習します。必要な用語、実務知識を身につけ、今後の業務運営、企画・開発・運用業務、及び効果的なシステム導入の提案・営業活動に役立てていただくことをねらいとします。

## ☆本研修の位置付け

金融にかかわるすべての方を対象としたCMCの「銀行業務研修・基礎コース」「銀行業務研修基礎・勘定系システムコース」に続く銀行業務研修シリーズ第三弾。「基礎コース」を受講した方を対象に、より深い金融知識を学習していただくために開講。

## ☆開催要綱

**日 程：** 2018年10月18日（木）～19日（金） 2日間

**時 間：** 1日目 10：30～17：00（10：00受付開始）

2日目 9：30～16：00（9：00受付開始）

**講 師：** 有限責任監査法人トーマツ シニアマネジャー 東浦 明朗 氏

**会 場：** 第2ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

**受講料：** ・ CMC会員価格 62,640円（本体価格58,000円、消費税4,640円）

（CMC金融機関機械化研究会会員、金融ニュービジネス&テクノロジー研究会会員）

・ 後援協会会員価格 66,960円（本体価格62,000円、消費税4,960円）

・ 一般価格 71,280円（本体価格66,000円、消費税5,280円）

（2日間とも昼食はこちらで用意いたします）

**定 員：** 40名（最少開催人員10名）

## ※講師のご紹介

### 東浦 明朗 氏

（有限責任監査法人トーマツ アドバイザリー事業本部 シニアマネジャー）

早稲田大学政治経済学部卒業。米国カーネギーメロン経営大学院修士。大手銀行で信用リスクモデル等開発・導入、国内外の企業やシンジケートローンの審査などの業務に12年間従事。1998年からは、大手コンサルティング会社にて、金融機関、総合商社等に対するリスク管理、与信業務改革、内部統制整備、予算・実績管理、情報系システム開発支援等の多数のコンサルティング実績を有している。現在は金融機関等に対する、ITリスク、統合リスク管理、信用リスク管理等のコンサルティング、リスク管理等の情報系システムの開発支援等を担当。

# 信用リスクの基礎 カリキュラム

1日目 10月18日(木)

10:30~17:00 (10:00受付開始)

2日目 10月19日(金)

9:30~16:00 (9:00受付開始)

<p><b>1. 収益とリスクの関係</b></p> <p>1.1. 金融仲介機関の収益</p> <p>1.2. 金融仲介機関のリスク</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・信用リスク</li><li>・市場リスク</li><li>・オペレーショナルリスク</li></ul> <p>1.3. 収益とリスクの関係</p> <p>1.4. 金融仲介機関の財務諸表との関係</p> <p><b>2. リスクマネジメントのフレームワーク</b></p> <p>2.1. リスクマネジメントの変遷</p> <p>2.2. リスクマネジメントのフレームワーク</p> <p>2.3. リスクマネジメントのプロセス</p> <p>2.4. 現代におけるリスクマネジメント</p> <p>2.5. リスクマネジメントと内部統制</p> <p><b>3. 信用リスクマネジメントの基礎</b></p> <p>3.1. 信用リスクマネジメント概要</p> <p>3.2. 債務者格付</p> <p>3.3. 案件格付</p> <p>3.4. 信用リスクの計量</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・信用 VaR</li><li>・モンテカルロ・シミュレーション</li><li>・VaRの代替指標：期待ショートフォール</li></ul> <p>3.5. バックテスト</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・バックテストのポイント</li></ul> <p>3.6. ストレステスト</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・マクロシナリオとミクロシナリオ</li><li>・リーマンショックとマクロシナリオの重要性</li><li>・マクロシナリオ・フレームワーク</li></ul> <p><b>4. 融資性信用リスクマネジメント</b></p> <p>4.1. リスクマネジメント・プロセス</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・債務者別リスクマネジメント</li><li>・住宅ローン管理の課題と対策</li><li>・ポートフォリオ・リスクマネジメント</li><li>・カントリーリスク</li></ul> <p>4.2. リスクマネジメント体制</p> <p>4.3. 支援システム開発へのヒント</p>	<p><b>5. 市場性信用リスクマネジメント</b></p> <p>5.1. 市場性信用リスクとは</p> <p>5.2. 商品別リスクマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・政策株式 ・社債</li><li>・シンジケートローン</li><li>・クレジット・デリバティブ ・証券化商品</li></ul> <p>5.3. リスクマネジメント体制</p> <p>5.4. 支援システム開発へのヒント</p> <p><b>6. 統合リスクマネジメント</b></p> <p>6.1. 統合リスクマネジメントとは</p> <p>6.2. 統合リスクマネジメント・プロセス</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主要なプロセス</li><li>・統合リスクマネジメントの導入ステップ</li></ul> <p>6.3. 収益性評価のフレームワーク</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・収益性フレームワーク</li><li>・収益評価指標(例)</li><li>・顧客別収益性評価の課題と対策</li><li>・原価計算モデルと業務単価分析</li></ul> <p>6.4. 資本配賦のフレームワーク</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・資本配賦の目的</li><li>・部門別配賦の課題と対策</li></ul> <p>6.5. リスクマネジメント体制</p> <p>6.6. 支援システム開発へのヒント</p> <p><b>7. バーゼル規制（自己資本比率規制）の基礎</b></p> <p>7.1. バーゼルⅡの基礎</p> <p>7.2. 標準的手法の概要</p> <p>7.3. 内部格付手法の概要</p> <p>7.4. 内部格付手法への移行</p> <p>(補論1) バーゼルⅢの概要</p> <p>(補論2) 「信用リスクの標準的手法の見直し」(概要)</p> <p>(補論3) 「信用リスクの内部モデル手法の見直し」(概要)</p> <p>(補論4) 「オペリスクの計測手法の見直し」(概要)</p> <p>(補論5) 「資本フロアの導入」(概要)</p> <p>※2日間とも昼食はこちらで用意いたします</p>
--	--

60

第87回 収益管理・リスク管理入門コース

「信用リスクの基礎」

ホームページ用受講申込書

2018年10月18日(木)~19日(金)開講

貴社名

所在地 (〒 - )

連絡責任者

TEL

部署・役職

FAX

	参加者氏名	所属 (部・課・グループ)	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

☆一週間経過しても届かない場合は、ご連絡ください。

**受講料**

A: 62,640円 (本体価格 58,000円) <CMC会員価格>

B: 66,960円 (本体価格 62,000円) <後援協会会員価格>

C: 71,280円 (本体価格 66,000円) <一般価格>

(2日とも昼食はこちらで用意いたします)

お問い合わせは、

CMC TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注: (振込先銀行) みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042

(名義) 株式会社 CMC

振込予定日 (できるだけご記入ください) 月 日

受講についてのお願い

- ①受講料は、できるだけセミナー開催日までにお振込みください。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁 (枝番数字) を付記してください。  
振込手数料は貴社でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日一週間以内のキャンセルはできません。
- ⑤講演中は、録音・撮影ならびに携帯電話・パソコンの利用はご遠慮ください。
- ⑥ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用ください。
- ⑦諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。